

文化財防火デーに伴い旧中沢家住宅で消防訓練を実施しました

毎年1月26日は、「文化財防火デー」です。



文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺で起きた火災で、国宝の壁画が焼損したことに基づいています。

これに合わせて令和8年1月28日、国の重要文化財に指定されている旧中沢家住宅で消防訓練を実施しました。訓練には、名取市教育委員会文化・スポーツ課、宮城福祉会、総合警備保障(株)東北支社等の関係機関が参加し、119番通報訓練・消火訓練を行い、名取市消防団増田分団第3部と消防署手倉田出張所隊が連携して一斉放水防火訓練を実施しました。参加者の皆様には、訓練を通じ文化財に対する理解と認識を深めていただくことができました。今後も、貴重な文化財を災害から守り後世に伝えられるよう、皆様の防火・防災に対するご協力をお願いいたします。

